



# ぽっかぽか 2月号

まもなく立春を迎え、暦の上では春になりますが、まだまだ寒さの厳しい日が続いております。年長組として過ごす園生活も残りわずかとなり、一日一日を大切に過ごしているところです。

クラスでは子どもたち同士で「決める」機会を増やしています。係の仕事も自分たちで決めました。こうした取り組みの中で、友達へ思いやりの気もちや、相手の話を聞こうとする姿が多く見られ、心身ともに大きな成長を感じています。

小学校生活に向けて、身の回りのことについて自分から取り組む意識も高まり、就学への期待をもって過ごす姿が見られます。残りの園生活を大切にしながら、子どもたちが自信をもって卒園の日を迎えるよう、職員一同、丁寧に関わってまいります。

寒さや感染症が心配な時期でもありますので、引き続き体調管理にご配慮いただきますようお願いいたします。ご家庭と連携を図りながら、子どもたちの健やかな成長を見守ってまいりたいと思います。

## 午睡について

これまで子どもたちの体調や状況に合わせて午睡時間を短くして活動を行ってきました。

体力も十分ついてきましたね！すでにお昼寝をしていないご家庭も多いかと思います。

クラスでも、いよいよ 3月2日(月) から午睡時間を設げず一日を過ごす練習をしていきます。

家庭環境や生活リズムには個人差がありますので、園と家庭で連携しながら無理のない範囲で就学に向けてルーティンづくりが出来たらと考えています。今まで通り午睡を希望される場合や一日単位でも午睡が必要だと感じる場合には担任へお知らせください。

※土曜保育をご利用の場合は、午睡時間があるためタオルケット(バスタオル可)をご持参ください。

## 保育園最後の保護者会

保育園最後の保護者会です。

内容は、☆午睡終了について ☆お茶の稽古保護者招待のこと ☆進級のこと ☆お別れ遠足のこと

☆卒園式のこと など盛りだくさん!! お願いやお知らせもございますのでご参加のほどよろしくお願いします！

※進級に伴い持ち物の変更もあります。保護者会前に掲示しますので、そちらもご確認ください。

保育園活動の様子

## 「子ども哲学」って どんな時間？

新しい年が始まり、子どもたちはますます「どうしてだろう」「なんでこうなるのかな」と、身のまわりのことに興味を広げています。園ではその気持ちを大切にしながら、“子ども哲学対話(P4C)”という取り組みを始めました。

### ❶ 子ども哲学とは？

子ども哲学とは、

子どもたちが自分の考えを言葉にし、友だちの意見を聞きながら、じっくり考える時間のことです。

難しい知識を学ぶのではなく、

「正解のない問い」について、子どもたちが自由に考え、話し、気づきを深めていきます。

### ❷ どんなことを話すの？

たとえば、こんなテーマが出てきます。「喧嘩するのってわるいこと？」「するいってなに？」

「幸せってどんな気持ち？」「正しいってどういうこと？」

子どもたちは自分の経験をもとに、真剣に、時にはユーモアを交えながら語り合います。

### ❸ 子ども哲学で育つ力

自分の考えを持つ力 相手の話を聞く姿 違う意見を受け止める心 考えを深める思考力 言葉で表現する力

これらは、これから社会でとても大切な力です。

子どもたちは対話を通じて、「自分の考えを大切にしていいんだ」という自信も育てています。

### ❹ ご家庭でもできる“小さな哲学”

特別な準備は必要ありません。日常の中で、こんな声かけをしてみると、子どもの思考がぐっと広がります。

「どうしてそう思ったの？」「ほかの考え方もあるかな？」「もし〇〇だったらどうなると思う？」

大人が答えを教えるのではなく、子どもの考えをじっくり聞いてあげることが、何よりの哲学時間になるのです。

最後に…子どもたちの“考える力”は、日々の対話の中でゆっくり育っていきます。

園でも、ご家庭でも、子どもたちの小さな「なぜ？」を大切にしながら、共に見守っていけたらと思います。